

はあとふる

地域支援センター通信（猪苗代支援学校）

第2号 令和5年7月20日（木）発行



「はあとふるタイム」を開催しました。

今年度1回目の保護者交流会「はあとふるタイム」を7月1日（土）に開催しました。今回初めて出入り自由という形で開催しましたが、高等部の保護者2名、中学部の保護者4名、小学部の保護者2名に参加していただきました。

午前中に進路セミナーが開催されたこともあり、進路に関する話題が多くありました。各学部段階での進路に対する不安や今家庭で取り組んでいること、取り組もうとしていること等、大変盛り上がりました。子どもの行動でお互いに共感し合ったり、新しい情報を知ることができたりと有意義な時間となりました。話題となったことの一部を掲載しますので、ご覧下さい。

【進路について】

今回一番多かった話題です。

午前中に行われた進路セミナーの話の中でも、グループホームの話題が多くあがりました。利用の仕方や利用料金等について、保護者の方がイメージしていたグループホームのイメージと、実際に聞いた話とでギャップがあったようです。「グループホームは一人暮らしをするための練習になる」という話を聞き、グループホームの利用を考え始めた保護者の方も多くいました。

また、中学部、高等部における校内実習、校外実習についても話題となりました。中学部の保護者の方からは、「実習中はすごく疲れて帰ってきた。」とお話があり、高等部の保護者の方からは、「校外での実習先をどのように決めていくか。」「高等部に入るとすぐ出口になる。」というお話がありました。小学部から体力をつけること、お子さんのできることを増やすこと等、高等部卒業後に生かせる力を一つ一つ確実につけていけると良いですね。



【公共交通機関の利用について】

「電車に乗れると、幅が広がりますね。」

高等部における現場実習の話題のときに出てきた言葉です。電車に乗って通学したり、実習先まで一人で電車を利用したりしているお子さんの話に、興味を示す保護者の方が多くいました。

公共交通機関を利用できるようになると、高等部で行われる現場実習や就労アセスメントの場所や、卒業後の就労場所、余暇としての利用等の幅が広がります。夏休み期間を利用して、お子さんと一緒に公共交通機関を使ってみませんか。



はあとふるタイムは、今年度で5年目になりました。

次回は、11月1日（水）に開催予定です。話を聞くだけでも構いませんので、気軽に御参加ください。また、はあとふるタイムに参加できなかった方、話し足りなかった方、ちょっと話を聞いてもらいたい方等いらっしゃいましたら、センター部員にお声掛けください。